

2022年度 第5回まつもと医療センター治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時：2022年9月8日（木）16:00～16:57

開催場所：独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター 応接室

出席委員名：中村昭則委員長、近藤竜一副委員長、久保田 敦委員、吉浦里香委員、
石曽根好雅委員、倉田研児委員、和田雅子委員、近藤君夫委員、吉澤由紀子委員

議題及び審議結果を含む主な議論の概要

【審議事項】

議題 1. 「中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第 2b/3 相, ランダム化, 二重盲検, プラセボ対照, 並行群間比較, 多施設共同試験」

①安全性情報に関する報告について、治験の継続の適否を審議した。

審議結果：承認

②治験の変更について、治験の継続の適否を審査した。

審議結果：承認

③治験の実施状況について、治験の継続の適否を審査した。

審議結果：承認

議題 2. インサイト・バイオサイエンシズ・ジャパン 合同会社の依頼による INCB050465 (Parsaclisib) の第 2 相試験

①安全性情報に関する報告について、治験の継続の適否を審査した。

審査結果：承認

②治験の変更について、治験の継続の適否を審議した。

審議結果：承認

議題 3. 「再発又は難治性多発性骨髄腫を有する日本人患者を対象としたヒト化 BCMA×CD3 二重特異性抗体 JNJ-64007957 の第 1/2 相試験」

①安全性情報に関する報告について、治験の継続の適否を審議した。

審議結果：承認

②治験の変更について、治験の継続の適否を審議した。

審議結果：承認

議題 4. 「再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象としたヒト化 GPRC5D×CD3 二重特異性抗体 talquetamab の第 1/2 相, first-in-human, 非盲検, 用量漸増試験」

①安全性情報に関する報告について、治験の継続の適否を審議した。

審議結果：承認

②治験の変更について、治験の継続の適否を審議した。

審議結果：承認

議題 5. 「再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象として teclistamab とダラツムマブ皮下投与製剤の併用 (Tec-Dara) とダラツムマブ皮下投与製剤, ポマリドミド及びデキサメタゾン (DPd) 又はダラツムマブ皮下投与製剤, ボルテゾミブ及びデキサメタゾン (DVd) を比較する第 3 相ランダム化試験」

①安全性情報に関する報告について、治験の継続の適否を審議した。

審議結果：承認

②治験の変更について、治験の継続の適否を審議した。

審議結果：承認

議題 6. 「再発又は難治性 (R/R) B 細胞性非ホジキンリンパ腫 (B-NHL) を対象としたツシジノスタットとリツキシマブ併用の第 Ib/II 相試験」

①安全性情報に関する報告について、治験の継続の適否を審議した。

審議結果：承認

②治験の変更について、治験の継続の適否を審議した。

審議結果：承認

議題 7. 藤本製薬株式会社の依頼による低セレン血症患者を対象とした FPF3401 の第 III 相試験

①治験の変更について、治験の継続の適否を審議した。

審議結果：下記の点について修正の上、実施承認とされた。

記

「説明文書および同意文書 補助資料（同意能力がないと推定される成人患者用）、治験名：FPF3401 の低セレン血症を対象としたオープン試験（第 III 相）版数：第 2.0 版（Ver.1.01.00702）作成年月日：2022 年 8 月 15 日」について

「4.ちけんやくをつかうと どうなるの?」「<よくないこと>」に主な副作用情報を追記すること。